

# 進路指導部便り

令和6年1月26日  
第7号  
東京都立七生特別支援学校長  
黒澤 一慶

新年を迎えました。本年も本校の進路指導への御理解と御協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。今回の進路指導部便りは、「卒業生定着支援」と「日野市との連携」について報告します。

## 卒業生定着支援の報告

本校では、過去3年間の卒業生を対象に定着支援を実施しています。定着支援には、主に3つの支援方法があります。①定期訪問、②緊急訪問、③支援機関との連携・共有です。

「定期訪問」は、本校では毎年、夏季休業中に元担任や進路担当が職場を訪問しています。「緊急訪問」は、本人や職場の状況、要望に応じて訪問をします。「支援機関との連携・共有」では、本人、家庭、職場からの相談や課題解決のために就労支援機関、相談支援事業所等に連絡し、情報の共有や必要に応じた支援会議を行います。

毎年、定着支援を実施して感じていることは、在学中から得意としていることは、移行先でも自信をもって取り組んでいます。逆に、在学中から課題となっていることは、移行先でも課題となり、定着支援時に相談されることが多くあります。卒業後の生活は、卒業生たちにとって、在学中の複数回の実習でも経験することのできない世界となります。その中で、課題も在学中より大きくなることもあります。この点も踏まえ、在学中から課題に対して、前向きに取り組み、改善していく姿勢が重要となります。課題に向き合うことは、生徒だけでなく、保護者の方にとって辛いことかもしれません。しかし、卒業後の生活を考えた時、課題にじっくり向き合う機会は在学中が最適と考えています。現在のお子さんの課題を、是非、学級担任や進路担当にご相談ください。一緒に解決していきましょう。

## 日野市との連携

障害者保健福祉に関する日野市主催の会議は、「自立支援協議会（本会）」、「就労支援部会」「障害者計画等策定委員会」、「日野市障害者就労支援ネットワーク」の4つがあり、主に進路指導主任が参加をしています。

「障害者計画等策定委員会」では、令和6年度からの「障害者保健福祉ひの6か年プラン」の作成に向けて、意見を出し合いました。学校からは卒業後のサービスの充実や本校の今後の生徒数や実態等を踏まえ、移動支援・相談支援・生活介護事業所を増やすことを依頼しました。

本プランには、『ともに生きるまち日野』という目指すべき姿の達成に必要なサービスやサポート体制が多く盛り込まれています。4月以降、ホームページへの掲載や市役所障害福祉課窓口等での配布が行われるかと思しますので、是非お読みください。

また、今後は日野市内にある福祉事業所の関係者が集まり、それぞれの運営面や支援内容についての課題等を共有できる、「福祉事業所連絡会」の開催の実現に向けて働きかけも行っています。

## 進路指導個別面談のお知らせ

進路指導主任及び進路専任による、今年度最後の進路個別相談日を2月に設けています。お子様の進路に関する悩みごとや相談ごとについて、保護者、七生福祉園職員の方が相談できる機会です。どうぞお気軽にお申し込みください。時間は1回につき40分程度です。2月の相談日は16日(金)です。相談を希望される方は、下記の申し込み票を御記入の上、2月5日(月)までに御提出ください。

-----きりとり-----

### 〈 進路個別相談 申し込み票 〉

2月16日(金)の進路個別相談に申し込みます。

(小・中・高) \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_組 児童・生徒名 \_\_\_\_\_

保護者・担当者名 \_\_\_\_\_

御希望の相談時間 ①9:30～ ②10:30～ ③11:30～

第1希望 \_\_\_\_\_ 第2希望 \_\_\_\_\_ 第3希望 \_\_\_\_\_

家庭・寮 → 担任 → 進路指導部